



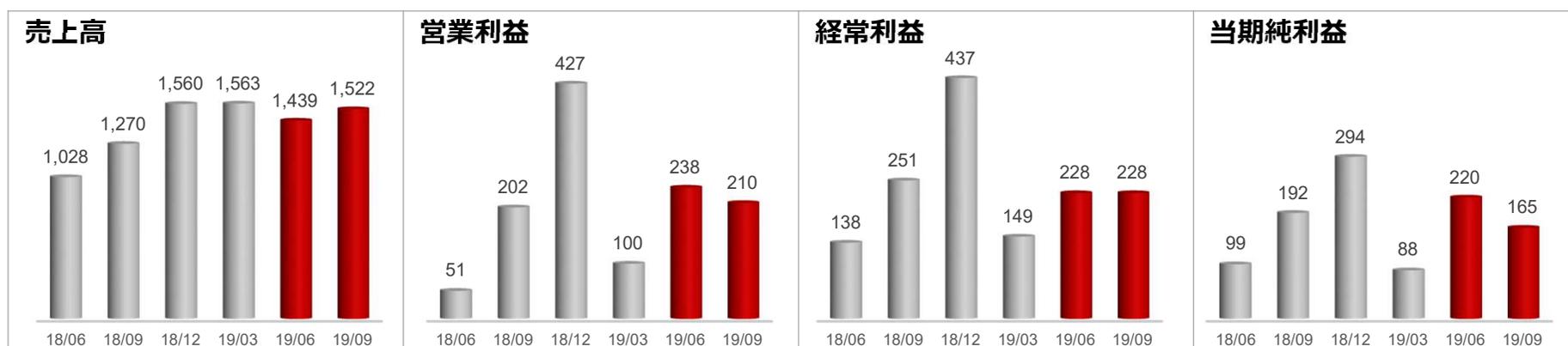
# 2019年度 2Q 連結決算の概要

2019年11月1日

# 連結業績ハイライト

前年同期比 +28.9%の増収 営業利益率 15.2% (単位：百万円)

	2018	2019	対前期増減	
	2Q	2Q	増減額	増減率
売上高	2,299	<b>2,962</b>	+663	+28.9%
営業利益	253	<b>449</b>	+195	+77.2%
経常利益	389	<b>456</b>	+67	+17.2%
当期純利益	292	<b>385</b>	+93	+32.1%



# 当期純利益の前年同期対比分析

(単位：百万円)

為替の傾向は逆風も増収増益を達成。



売上総利益		販管費		営業外損益		特別損益	
売上増	+663	人件費増	▲20	為替差損益	▲136	投資有価証券 売却益	+68
原価増	▲406	経費増	▲4			固定資産除却損 の減少	+10
		開発費増	▲36				

# 事業別損益

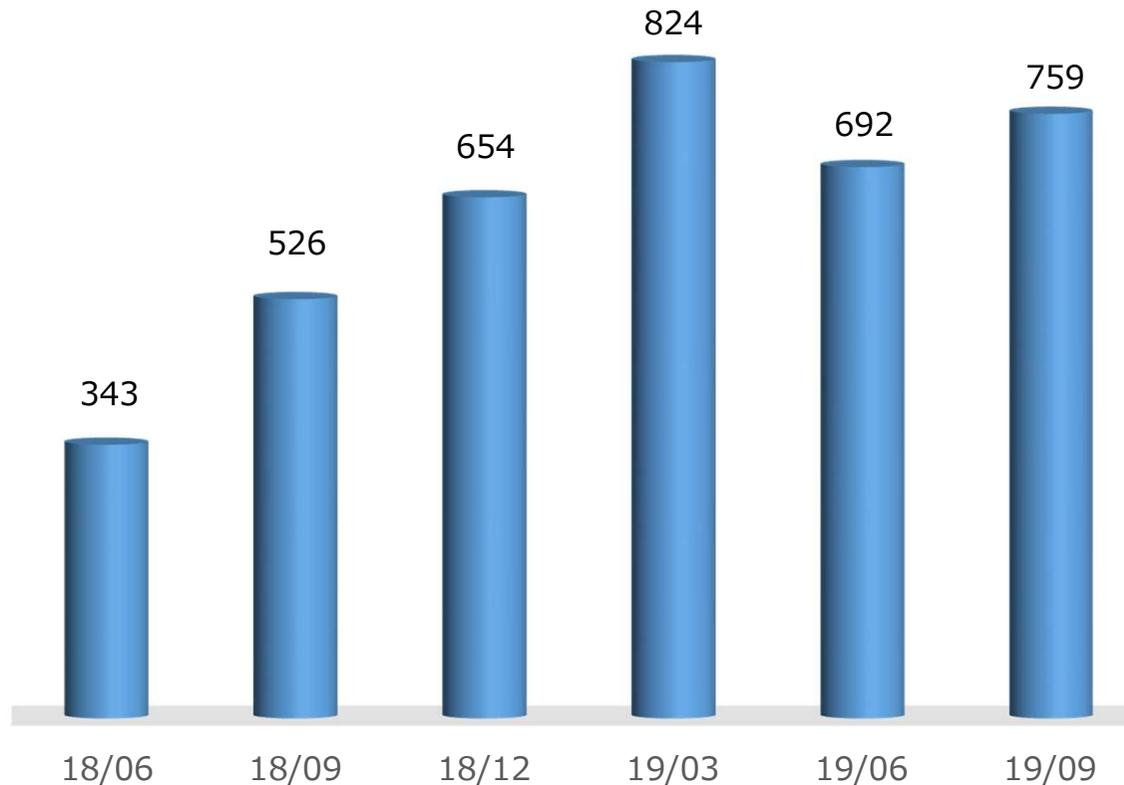


(単位：百万円)

	売上高				営業損益			
	2018 2Q	2019 2Q	対前期増減		2018 2Q	2019 2Q	対前期増減	
			増減額	増減率			増減額	増減率
光部品	869	<b>1,451</b>	+582	+67.0%	42	<b>266</b>	+223	+524.7%
光測定器	1,273	<b>1,503</b>	+229	+18.1%	188	<b>221</b>	+33	+17.7%
その他 (システム・ソリューション)	156	<b>7</b>	△148	△95.3%	22	<b>△38</b>	△61	-
合計	2,299	<b>2,962</b>	+663	+28.9%	253	<b>449</b>	+195	+77.2%

# 製品別売上高 (光部品)

(単位：百万円)



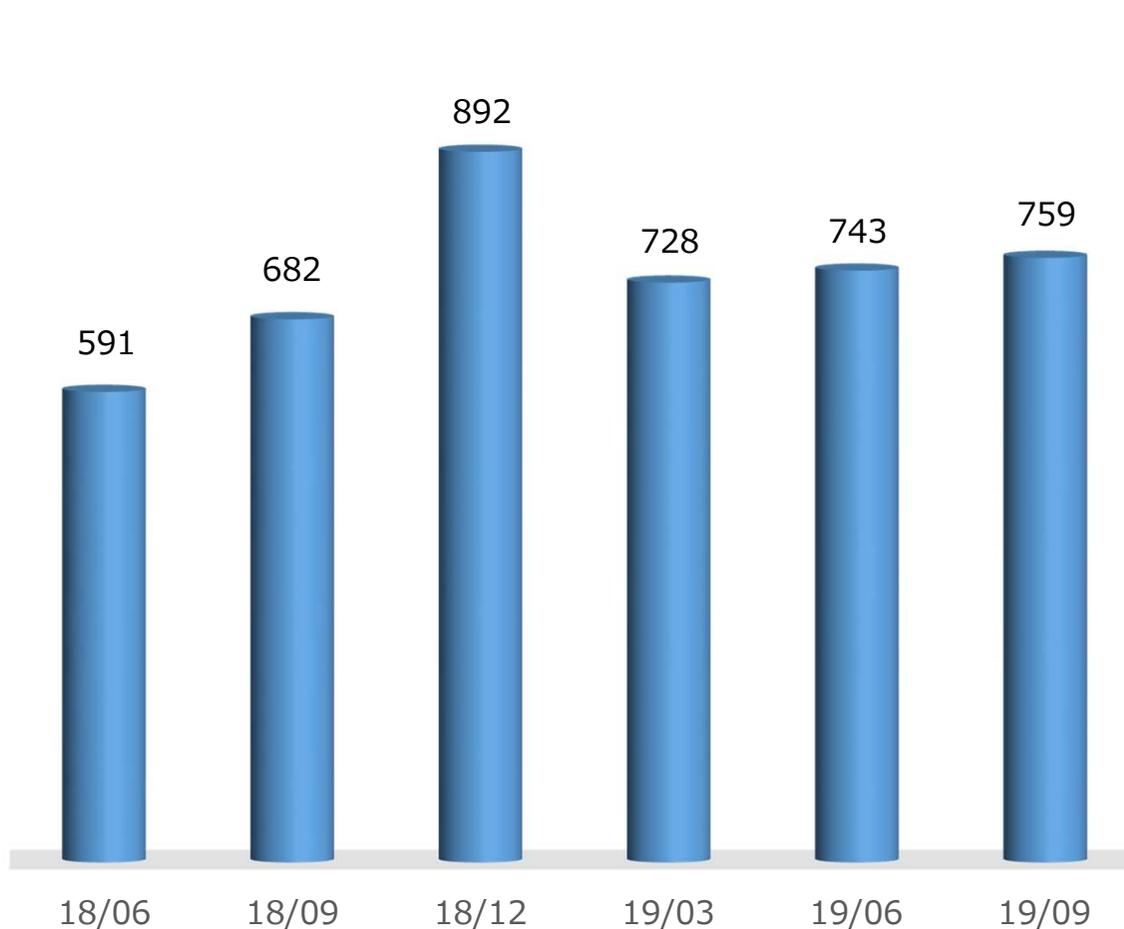
光モニタ、前年同期比で増加  
米中経済摩擦については、  
ネガティブインパクトあり

北米向けモニタ・アッテネータ  
製品が前年同期比増加

ベトナム工場増強完了

米中経済摩擦の影響から、北米  
顧客より買い控えの動きが見ら  
れ、今後に不透明感

# 製品別売上高 (光測定器)



## 部品評価システム



中国の製造現場向けに波長可変光源及びパワーメータ等を組み合わせた部品評価システムが好調



## 産業向けOCT

日本における産業用OCTシステム  
前年同期比で減少

## ARGOS

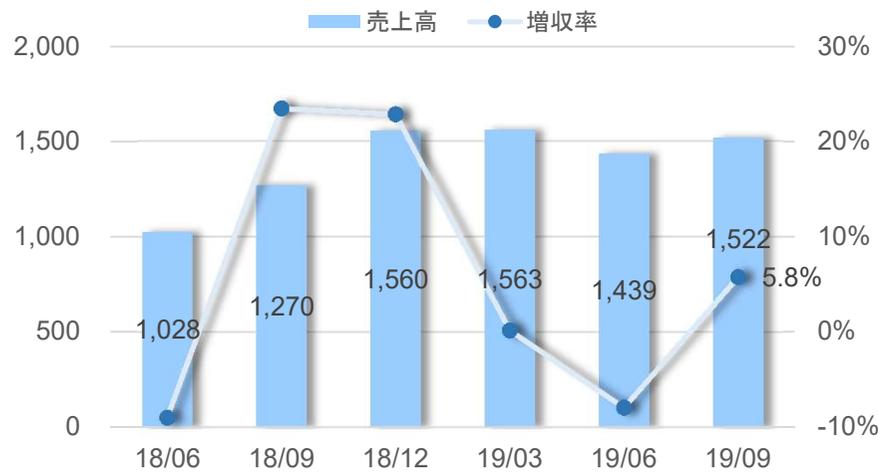


ARGOS  
アルコン向け  
出荷開始

# 主要指標

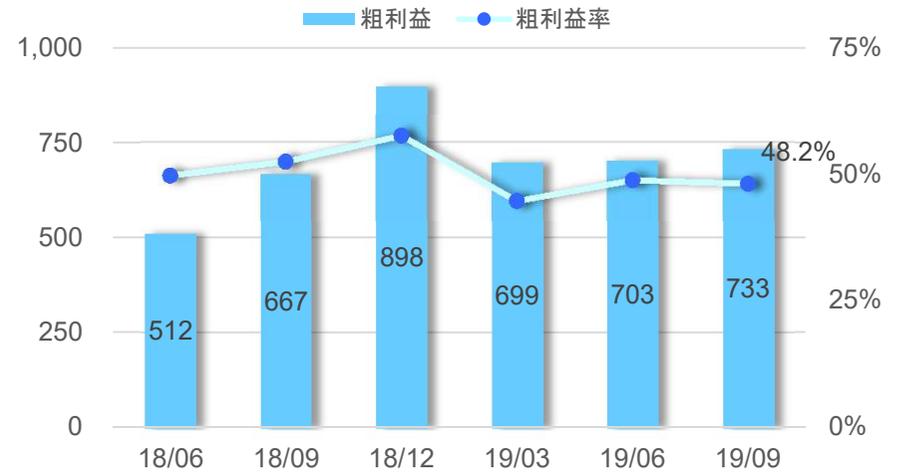
## 売上高

(単位：百万円)



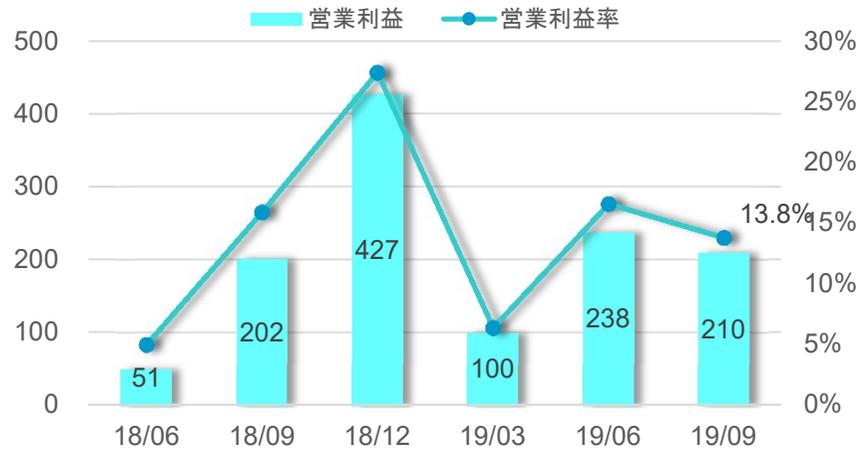
## 粗利益

(単位：百万円)



## 営業利益

(単位：百万円)



## 販管費

(単位：百万円)



# 2019年度通期予想

基本課題 「新事業創出とグローバルコラボレーションによる成長加速」

(単位：百万円)

	2018年度 通期実績		2019年度 業績予想		対前期増減	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	5,422	100.0%	<b>6,000</b>	100.0%	+578	+10.7%
営業利益	781	14.4%	<b>785</b>	13.1%	+4	+0.5%
経常利益	976	18.0%	<b>880</b>	14.7%	△96	△9.8%
当期純利益	674	12.4%	<b>700</b>	11.7%	+26	+3.9%
年間配当 (円)	(*1) 25円		(*2) <b>20円</b>		-	

\*1 創立40周年記念配当 10円を含む

\*2 中間配当10円、期末配当10円

## ■ 米ドル想定為替相場

2019年度は、期中平均110円を想定しております。



本資料における当社の今後の計画、見通し、戦略等の将来予想に関する記述は、当社が現時点において合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等の結果はこれらの見通しと異なる可能性がありますことをご了承ください。

本資料に関するお問合せ先

santec株式会社  
執行役員業務部長 山下 英哲  
電話 0568-79-3535 (代表)  
URL: <https://www.santec.com/jp>

〒485-0802  
愛知県小牧市大草年上坂5823  
フォトニクスバレー 大草キャンパス